

## 開催要項

### キュレトリアル・スタディズ 12: 泉／Fountain 1917－2017



[会 期] 2017年4月19日(水)～2018年3月11日(日)

[会 場] 京都国立近代美術館 4階コレクション・ギャラリー

[開館時間] 午前9時30分～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

★夜間開館＝毎週金曜・土曜は午後8時まで、7/1から10/14までの金曜・土曜は午後9時まで開館

[休館日] 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)、6/13、8/8、10/24、12/25～1/4

[観覧料] 一般430(220)円、大学生130(70)円 ( )内は20名以上の団体料金

※キャンパスメンバーズ加盟大学等の学生・教職員の方は無料

※高校生、18歳未満、65歳以上、心身に障がいのある方と付添人1名は無料(要証明)

[主 催] 京都国立近代美術館

[企 画] 平芳幸浩(京都工芸繊維大学美術工芸資料館准教授)、牧口千夏(当館主任研究員)

#### [企画趣旨]

1917年にマルセル・デュシャンによって「制作」されたレディメイド作品《泉》は、20世紀美術にもっとも影響を与えた作品として知られています。また1960年代のコンセプチュアル・アート以降、デュシャンの《泉》を解釈・解読すること自体が創作行為にもなっています。2017年4月に《泉》が100周年を迎えるにあたって企画されたこのプログラムでは、当館の所蔵作品だけでなく現代の美術家によるデュシャン解読の作例を加え、各回展示替えをしながら本作品の再制作版(1964年)を1年間展示するとともに、さまざまなゲストを迎えて《泉》およびデュシャンをめぐるレクチャーシリーズを開催します。

Case 1: マルセル・デュシャン 29 歳、便器を展覧会に出品する

キュレーション: 平芳幸浩

会期: 2017 年 4 月 19 日(水)~6 月 11 日(日)

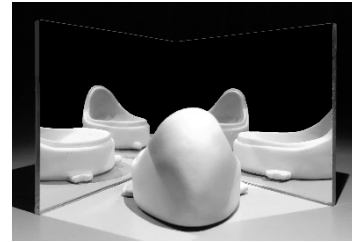
ギャラリートーク: 5 月 20 日(土) 午後 2 時から

Case 2: He CHOSE it.

キュレーション: 藤本由紀夫

会期: 2017 年 6 月 14 日(水)~8 月 6 日(日)

レクチャー: 6 月 23 日(金) 午後 6 時から



藤本由紀夫《RENVOI MIROIRIQUE》マケット 2017 年 © the artist

Case 3: 誰が《泉》を捨てたのか

キュレーション: 河本信治

会期: 2017 年 8 月 9 日(水)~10 月 22 日(日)

レクチャー: 9 月 2 日(土) 午後 6 時から

Case 4: デュシャンを読む:リサーチ・ノート

キュレーション: ベサン・ヒューズ Bethan Huws

(アーティスト)

会期: 2017 年 10 月 25 日(水)~12 月 24 日(日)

アーティストトーク: 10 月 26 日(木) 午後 3 時から



ベサン・ヒューズ《リサーチ・ノート 2007/14》ベルリンのスタジオにて

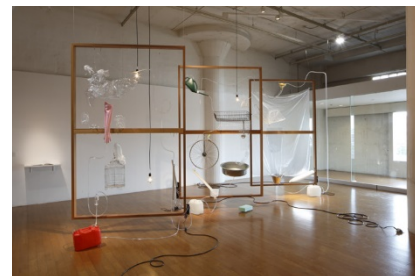
Case 5: 散種(仮)

キュレーション: 毛利悠子(アーティスト)

会期: 2018 年 1 月 5 日(金)~3 月 11 日(日)

クロストーク: 毛利悠子 × 浅田彰

2018 年 1 月 26 日(金) 午後 6 時から



毛利悠子《モレモレ: 与えられた落水 #1-3》2015 年 © the artist